

一般社団法人日本解剖学会 2022（令和4）年度第4回常務理事会議事録

日時：2022（令和4）年9月17日（土）13:00～16:00

場所：一般財団法人口腔保健協会 302会議室

出席者：出席者：渡辺 雅彦（理事長）、木山 博資、寺田 純雄、仲嶋 一範、福田 孝一（以上、常務理事）、市村 浩一郎、大野 伸彦、竹林 浩秀（以上、常任幹事）、中村 聡（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

- (1) 2022（令和4）年度第3回常務理事会（令和4年6月18日開催）議事録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の報告があった。

・令和4年6月分

入会者：正会員 2名

退会者：学生 1名

・令和4年7月分

入会者：正会員 5名、学生 1名

退会者：正会員 5名

・令和4年8月分

入会者：正会員 2名、学生 1名

退会者：正会員 3名

・逝去会員

該当者なし

・新規就任教授 4名

・石井 寛高 先生（日本医大・解剖学・神経生物学分野 教授 令和4年4月1日就任）

・戴 毅 先生（兵庫医大・解剖学神経科学 教授 令和4年6月1日就任）

・岩永 譲 先生（東京医歯大・歯・口腔顎顔面解剖学 教授 令和4年7月1日就任）

・山岸 覚 先生（浜松医大・光先端医学教育研究センター・フォトンクス医学・光神経解剖学 教授 令和4年7月1日就任）

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、学会事務局で保管、HP掲載などの対応を行っていることが報告された。

・通知、依頼：(株)ユニバーサル社より「2022年度学術大会のご案内」他80件

・書籍、定期通信 他：(独)日本学術会議より「学術の動向 2022.6」他11件

(3) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、シンポジウム開催やダイバーシティ推進委員会からの活動報告があったことなどが報告された。

(4) 2022（令和4）年度推薦による代議員申請状況について

資料に基づき、1名の申請があり、10月31日の締切後、次回の理事会で審議となることが報告された。

(5) 日本外科学会CST推進委員会報告

資料に基づき、関連学会の委員・担当理事などの関係者が集まって8月24日に開催された説明会について報告された。

(6) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌・ASI刊行報告及び刊行予定

資料に基づき、解剖学雑誌 97巻2号、ASI Vol.97 No.4の刊行状況、およびその内容の概略について報告

された。

- (2) ASIにおける2021年インパクトファクターについて
資料に基づき、上昇傾向であることが報告された。
- (3) その他
特になし。

3. 企画・渉外報告

- (1) 2022（令和4）年度認定一級技術者資格試験について
資料に基づき、9月17日の試験実施報告がなされた。これから採点を行い、12月の理事会に結果が諮られることが報告された。
- (2) 認定二級技術者資格審査結果について
資料に基づき、認定解剖組織技術者資格審査委員会における審査の結果、1名の受験者が合格と判定されたことが報告された。
- (3) 2022（令和4）年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞申請状況について
資料に基づき、現在募集中であることが報告された。
- (4) 2023（令和5）年度第128回総会・全国学術集会の準備状況について
資料に基づき、第128回総会・全国学術集会は、大和田祐二先生（東北大学）を会頭として、2023年3月18日（土）～20日（月）に開催予定であり、シンポジウムの公募を締め切ったこと等が報告された。
- (5) 2024（令和6）年度第129回総会・全国学術集会の準備状況について
資料に基づき、第129回総会・全国学術集会は、高山千利先生（琉球大学）を会頭として、2024年3月21日（木）～23日（土）に開催予定であり、プログラム委員会が立ち上がったこと等が報告された。
- (6) 2026（令和8）年度第131回総会・全国学術集会開催校について
資料に基づき、1大学から開催希望の届出があったことが報告された。
- (7) 日本医学会報告・日本医学会連合報告
資料に基づき、日本医学会連合2022年度定時社員総会の内容が報告された（2022年6月29日開催、福田常務理事出席）。
- (8) 生物科学学会連合報告
資料に基づき、生物科学学会連合第25回定例会議の内容が報告された（2022年7月26日開催、寺田常務理事出席）。また、若手研究者支援に関するアンケート調査について若手育成委員会へ対応を依頼し回答したこと、生物教育・大学入試問題検討委員会の生物用語に関するアンケート調査について解剖学用語委員会へ対応を依頼したこと、未来の学術振興構想に関するアンケート調査について回答したことなどが報告された。
- (9) 日本脳科学関連学会連合報告
資料に基づき、日本脳科学関連学会連合の次期（第6期）の代表が決定されたことが報告された。
- (10) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA等）
資料に基づき、以下のことが報告された。
 - ・2023年KAA年会シンポジウムへ下記の2名を派遣することとなった。
 - ・玉田 宏実 先生（名古屋大・医・機能形態学・機能組織学）
 - ・辻 琢磨 先生（順天堂大・医・老人性疾患病態・治療研究センター分子細胞学）
 - ・第10回APICAは2022年にオーストラリアとニュージーランドによる合同開催の予定である。詳細は確認中である。
 - ・第20回IFAA（会期：2022年8月5日～7日、場所：イスタンブール）はWeb方式により開催された。
 - ・国際解剖学用語（Terminologia Anatomica 2, TA2）の改訂に対する対応として、TA2の意義の評価と解剖学会として公式見解を出す必要性について、解剖学用語委員会での検討を依頼した。
- (11) その他

特になし。

4. 会計報告

- (1) 2022（令和4）年度中間決算書について
資料に基づき、2022年（令和4）年度8月次中間決算報告（2022年1月1日～8月31日）の内容が報告された。
- (2) 第127回総会・全国学術集会収支・開催報告
資料に基づき、佐藤真会頭（大阪大学）から提出された収支決算報告書の内容が報告された。
- (3) その他
特になし。

5. 理事長報告

- (1) 解剖体からのプリオン検出対応について
資料に基づき、長崎大学においてプリオン陽性の解剖体が発見された件について報告があり、学会としての今後の対応について協議された。
- (2) 学術集会開催方式決定にあたっての指針制定について
資料に基づき、「コロナ渦における学術集会開催方法決定にあたっての指針（案）」について報告された。
- (3) その他
特になし。

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について

資料に基づき、令和4年6月1日から8月31日までに入会申請のあった正会員9名、学生会員2名について審議の結果、全員の新規入会が承認された。

2. 教授就任による代議員について

資料に基づき、教授就任に伴う以下の4名の代議員申請者について審議の結果、代議員の就任が承認された。

- ・石井 寛高 先生（日本医大・解剖学・神経生物学分野 教授 令和4年4月1日就任）
- ・戴 毅 先生（兵庫医大・解剖学神経科学 教授 令和4年6月1日就任）
- ・岩永 譲 先生（東京医歯大・歯・口腔顎顔面解剖学 教授 令和4年7月1日就任）
- ・山岸 覚 先生（浜松医大・光先端医学教育研究センター・フォトンクス医学・光神経解剖学 教授 令和4年7月1日就任）

3. 次期代議員・役員選出選挙について

資料に基づき、2023・2024年度役員選出選挙の実施について審議ののち承認された。オンライン投票を行う予定となっており、リマインドメール送付など投票率を上げるための工夫を行うことが確認された。

4. 解剖体の取り扱いに関わる不適切事案対応と日本解剖学会・篤志献体全国連合会共同声明文発出について

資料に基づき、解剖体の取り扱いに関わる不適切事案を踏まえて、1) 専門的知識を有する専任の解剖技術者の確保と労働環境・処遇の改善、技術承継への配慮、2) 解剖学、篤志献体制度に関する経験と高い倫理観を有する解剖学教員の確保、採用、育成と処遇の改善、3) 解剖学教室の教員と技術職員および部局事務との連携体制の再確認と強化、4) 献体関連の特殊業務の外部委託等による負担軽減の検討の必要性の4点について、日本解剖学会と篤志献体全国連合会で共同声明文を発出することについて審議された。現在、篤志献体全国連合会の意見を反映させており、両理事会の承認の後に、各大学、関連省庁に発信する方針が確認された。

5. 基本財産運用方針の確認

資料に基づき、資本金についてはこれまで通りに定期預金での運用を行うこととなった。

6. 全国学術集会ハイブリッド化の検討について

資料に基づき、全国集会のハイブリッド化について審議を行った。全国学術集会については、対面式を基本に、オンライン配信は、比較的費用のかからない形（例えば、一部会場のライブ配信など）を検討することとなった。さらに、学会本部から全国学術集会への補助は、これまで100万円を助成していたが、今後は、オ

オンライン配信を含むハイブリッド開催を行う場合には、特別会計から50万円の補助増額をする案が出され、次回の理事会に諮ることとなった。

7. 終身会費の若手育成を目的とした特別会計化について

資料に基づき、終身会費の特別会計化について、若手の会から提出された意見をもとにさまざまな角度から検討された。若手育成のために毎年継続的に行う企画と、数年に1回行う企画に分けて検討する案が出された。例として、若手の交流・顕彰、解剖学実習のスキルアップのための支援、若手の解剖学分野へのリクルート、学会活性化のための工夫などが考えられるので、若手の会の意見を求めつつ、各方面から検討することとなった。

8. 会費請求用封筒裏面の有効活用の提案

資料に基づき、会費請求用封筒の裏面に学会からのお知らせを掲載して有効活用することが承認された。

9. プライバシーポリシーの一部改正について

資料に基づき、個人情報保護法に合致するように、プライバシーポリシーの一部を改正することが承認された。次回の理事会までに文言の修正をすることとなった。

10. その他

特になし。

次回の常務理事会および理事会の日程は下記のとおりとなった。

2022年12月10日（土）（場所：AP東京八重洲通り）

常務理事会 10:30-13:00、理事会 14:00-17:00